

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会 (第5回)
開 催 日 時	令和6年12月20日(金) 14時00分 開会 15時04分 閉会
開 催 場 所	美幌町役場庁舎2階 第3会議室
出 席 者 氏 名	村田会長、伊藤副会長、鹿野委員、漆原委員、信太委員 川添委員、酒井委員、岩本委員、福田委員
欠 席 者 氏 名	岩堀委員
事務局職員職氏名	竹下政策推進課長、政策統計グループ 稲場主査、山口主事
議 題	1 第3期総合戦略の名称について 2 第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について 3 その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—
傍聴人の数 (会議を公開した場合)	0名
会議資料の名称	資料1 第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音データを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音データを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
村田会長	<p>【開会】</p> <p>定刻になりましたので、これより、令和6年度第5回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催します。</p> <p>本日は、岩堀委員から欠席の連絡をいただいております、9名での開催となりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議では、第3期総合戦略の名称について事務局案を提示するとともに、人口ビジョンに関する内容、美幌版総合戦略の数値目標及びKPIの実績値と目標値についてご確認いただき、「最終案」として完成させるため、ご質問などを伺ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題の1番目「第3期総合戦略の名称について」、事務局から説明をお願いします。</p>
稲場主査	<p>【議題1 第3期総合戦略の名称について】</p> <p>国からは地方版総合戦略の名称について「地域の実情に応じた名称を設定することが適切」とされ、国が定める総合戦略の名称は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」から「デジタル田園都市国家構想総合戦略」へと変更されている他、地方版の名称についても名称変更案が示されているところでした。</p> <p>しかし、石破内閣発足後、「デジタル田園都市国家構想実現会議事務局」が「新しい地方経済・生活環境創生本部」へ改組されたことに併せ、「デジタル田園都市国家構想交付金」についても、「新しい地方経済・生活環境創生交付金」へ変更されることとなっており、国が定める総合戦略の名称も、今後変更される可能性があります。</p> <p>北海道は、総合戦略の名称の変更はしておらず、現在、第3期北海道創生総合戦略のパブリックコメントを開始しているところです。</p> <p>以上のことから、本町においても名称を変更せずに「第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」としたいと考えております。</p> <p>以上、「第3期総合戦略の名称」についてご説明させていただきました。よろしくお願いいたします。</p>
村田会長	<p>事務局から「第3期総合戦略の名称について」説明がありました。名称は変更せずに「第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」としたいとのことでしたが、何かご質問等ございませんでしょうか。</p>
一同	<p>(なし)</p>
村田会長	<p>それでは、名称について「第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に決定します。</p> <p>次に議題の2番目「第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について」です。</p> <p>はじめに、「人口ビジョン」について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>【議題2 第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について】</p>

<p>稲場主査</p>	<p>○人口ビジョン 美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口の現状と将来の展望を提示する「人口ビジョン」、地域の実情に応じた今後5年間の施策の方向性を提示する「美幌版総合戦略」で構成されております。 資料1の1ページから26ページまでが人口ビジョンとなっております。人口ビジョンは、町独自推計値やその他の実績値について最新の数値に置き換えました他、項目を整理しているものもあります。朱書きで記載されているものが前回ビジョンからの変更点でございます。 第3回の会議でお諮りしましたとおり、人口の将来展望について、今回町独自推計を行った結果、第1期戦略策定時に行った人口推計結果との差が50名程度だったことから、目標値である14,500人は据え置くこととしておりますので、ビジョンそのものに大きな変更点はございませんが、第3期戦略において見直した点をご説明させていただきます。 18ページをお開きください。 こちらのページでは、①人口の将来展望の考え方において、「人口の将来展望の考え方について2015年に設定したものを引き継ぐこと」と、②人口減少対策の効果において、「町独自推計値と実績値の比較」について記載を追加しております。 続いて25ページをお開きください。 (3) 目指す姿とその実現に向けた方向性について、美幌版総合戦略の各基本目標に沿った方向性を定めたことから、「②暮らしやすさの魅力を発信し、新しいひとの流れをつくる」の記載を追加しております。</p> <p>以上、「人口ビジョン」についてご説明させていただきました。よろしくお願いたします。</p>
<p>村田会長</p>	<p>事務局から「人口ビジョン」について説明がありましたが、何かご質問等ございませんか。</p> <p>人口ビジョンでは西暦の後にかっこ書きで和暦を記載していますが、18ページは西暦のみの記載となっているため、統一したほうが良いと思います。</p>
<p>稲場主査</p>	<p>ありがとうございます。修正します。</p>
<p>村田会長</p>	<p>次に、「美幌版総合戦略」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>稲場主査</p>	<p>○美幌版総合戦略 27ページ以降が美幌版総合戦略となります。 美幌版総合戦略につきましては、次の3点について整理しました。 ①第3期総合戦略の策定のポイントを整理 ②KPIの実績値と目標値を設定 ③前回会議でいただいたご意見を反映 となっておりますので、それぞれについて、ご説明させていただきます。 「I 基本的な考え方」について、32ページをお開きください。 第3期総合戦略の策定のポイントとして、 (1) 人口ビジョンの見直し (2) U I J ターンの強力推進 (3) 青年団体・女性団体・子育て世帯・高校生へのアンケート調査・意見交換の実施 (4) デジタルの力を活用した社会課題解決・魅力向上</p>

	<p>(5) 女性の定着を図る施策立案 を記載しております。</p> <p>続いて35ページをお開きください。35ページ以降が「Ⅱ基本戦略」となります。</p> <p>先月開催いたしました第4回の会議において、現状と課題及び基本的方向を文章形式にし、各施策に対する事業をラインナップし、数値目標及びKPIの指標についてご確認いただきました。</p> <p>今回の資料は、各担当部局が数値目標及びKPIの実績値と目標値について設定し、反映させたものとなっております。</p> <p>また、第4回の会議でいただいたご意見について反映させたものを黄色マーカーで表示しており、各担当部局と協議の結果、KPIの指標を変更したものは青マーカーで記載しております。</p> <p>Ⅱ基本戦略の構成として、「現状と課題」に対する「基本的方向」、それを実施するための「各施策」、施策の影響度や達成度合いを推し量るものとして「KPI」をそれぞれ設定しているところであります。</p> <p>○基本目標1「地域の基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場を作る」</p> <p>それでは、基本目標1「地域の基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場を作る」についてです。</p> <p>数値目標の指標ですが、こちらの基本目標は人材不足を解消し、地域経済の活性化に取り組むものとなっておりますので、「新規求人数」、「200万円を超える給与収入者数」を数値目標の指標として設定しております。</p> <p>「新規求人数」の令和5年度の実績値は1,244人で、令和11年度の目標値は1,100人に設定しております。目標値は第2期戦略から変更はございません。</p> <p>「200万円を超える給与収入者数」の令和5年度の実績値は5,796人で、令和11年度の目標値は5,700人に設定しております。給与収入者数は全体で約7,000人で、現在の生産年齢人口が約9,300人のところ、5年後には約7,700人まで減少する予想となっております。数値は現状維持であります。割合は高まるという目標値設定となっております。</p> <p>36ページをお開きください。「施策1 産業における経営の強化・人材の確保」についてです。</p> <p>施策1におけるKPIは、「農業販売高」「新規就農者数」を設定しております。</p> <p>「農業販売高」の令和5年度の実績値は133億円で、令和11年度の目標値においても現状維持の133億円で設定しております。</p> <p>「新規就農者数」の令和5年度の実績値は4人で、令和7年度～令和11年度の5年間の累計による目標値は25人に設定しており、こちらは年平均して新規就農者を5人として設定しました。</p> <p>次に「施策2 地域特産品の振興」についてです。</p> <p>施策2におけるKPIは、「新規特産品開発数」を設定しております。</p> <p>KPIに青マーカーを引いておりますが、消し忘れとなっております。前回から変更ありません。</p> <p>「新規特産品開発数」の令和5年度の実績値は1件で、令和7年度～令和11年度の5年間の累計による目標値は5件に設定しており、年平均の新規特産品開発を1件として設定しました。</p> <p>38ページをお開きください。次に「施策3 地域資源を活かした観光の</p>
--	---

	<p>推進」についてです。</p> <p>施策3におけるKPIは、「観光入込客数」「宿泊客延人数」を設定しております。</p> <p>「観光入込客数」の令和5年度の実績値は766,805人で、令和11年度の目標値は800,000人に設定しております。こちらは美幌峠の観光入込客数を基に算出しており、道の駅リニューアル後の令和4年度以降の実績値を基準に目標値を設定しております。</p> <p>「宿泊客延人数」の令和5年度の実績値は18,991人で、令和11年度の目標値は23,000人に設定しており、ARM美幌の進出等により宿泊施設の稼働率を5%程度上昇させた目標値に設定しております。</p> <p>なお、KPIの指標について、前回会議資料では「宿泊客数」としておりましたが、連泊や長期滞在する方も多くいらっしゃることから「宿泊客延人数」へ変更しております。</p> <p>次に「施策4 起業支援・企業誘致」についてです。</p> <p>施策4におけるKPIは、「起業家件数」「企業誘致件数」を設定しております。</p> <p>「起業家件数」の令和5年度の実績値は4件で、令和7年度～令和11年度の5年間の累計による目標値は10件に設定しており、年平均の起業家件数を2件として設定しました。</p> <p>「企業誘致件数」の令和5年度の実績値は1件で、令和7年度～令和11年度の5年間の累計による目標値は1件に設定しております。交通の優位性や自然災害の少なさを売り込み、農産物の物流やデータセンター等のIT関連企業の誘致を検討しておりますが、稲美工業用地の空き地も少ないことから目標値は1件に設定しております。</p> <p>次に「施策5 外国人労働者を受け入れる体制づくり」についてです。</p> <p>施策5におけるKPIは、「外国人労働者数」を設定しております。</p> <p>「外国人労働者数」の令和5年度の実績値は128人で、令和11年度の目標値は158人に設定しております。令和5年12月に行った企業アンケートの企業意向を反映し、30人増で設定しております。</p> <p>なお、KPIの指標について、前回会議資料では「外国人労働者受入件数」としており、今回「外国人労働者数」へ変更しておりますが、指標の内容に変更は無く、よりわかりやすい言葉へと変更させていただいたものとなっております。</p> <p>以上、「基本目標1」についてご説明させていただきました。よろしくお願いいたします。</p> <p>村田会長 事務局から「基本目標1」について説明がありましたが、何かご質問等ありませんか。</p> <p>竹下政策推進課長 39ページのKPI「外国人労働者数」について、令和6年に223人居て、その内定住している人が20人という報告を受けておりますが、そこから比較すると目標値がかなり下がっているため、現実的な数値ではないと思います。</p> <p>令和5年の実績値128人は令和6年3月末の人数となり、令和6年10月末の人数は、会長がおっしゃるとおり223人ということで、かなり増えております。令和5年10月末は168人なので3月末までに40人くらいは帰国しているため増減はあるものの、同じペースで行くと今年度末は170人くらいになります。申し訳ありませんが、所管が経済部の商工観光課と</p>
--	---

	<p>なりますので、ここの数字は持ち帰らせていただいて、この数字になったということを事務局に一任していただけないでしょうか。少なくとも、ご指摘のとおり目標値を上向きにするイメージで設定したいと思います。</p>
村田会長	<p>事務局に一任してよろしいでしょうか。</p>
一同	<p>(よろしいです。)</p>
村田会長	<p>それではこの数値は事務局に一任したいと思います。</p>
信太委員	<p>38 ページの観光の部分に関わることなのですが、町では各部局で色々と戦略を立てていると思いますが、月曜日にゼロカーボン推進委員会に出席したときに、グリーンツーリズムの確立という文言が出てきました。戦略に農村ツーリズム推進事業という文言が新たに出てきておりますが、少し違和感がありました。というのも、平成 28 年に策定し、令和 8 年度に更新を迎える、美幌町観光振興革新戦略ビジョンというものがあつて、平成 28 年の策定の際に、農村ツーリズムとグリーンツーリズムの違いについて議論したことがありまして、農村ツーリズムというのは田舎に都市の人が来るというイメージで、グリーンツーリズムは都市と田舎が相互に交流するという意味があるので、広くとらえてグリーンツーリズムを戦略に掲載することとなりました。ゼロカーボンの委員会でもグリーンツーリズムという文言を入れております。何が言いたいかということ、それぞれの戦略で統一した文言にしておいたほうが良いのではないかと思います。広い意味で、グリーンツーリズムの中に農村ツーリズムが含まれるので、部局で農村ツーリズムに思い入れがあつたということでしょうか。</p>
竹下政策推進課長	<p>滞在型観光の推進というテーマで方向性があり、5 年間どういった施策を並べていくかということで、各部局で検討した結果ここに記載のある事業の並びになっております。ここに記載するものは、具体的に行っていく事業にしたいと思っております。今お話のあつたグリーンツーリズムは、各戦略で方向性として見えていて、それが用語だけではなくて具体的な事業として、グリーンツーリズム以外のグリーンツーリズムみたいなものが部局から出て来ればよかつたのですが、恐らく今現在、グリーンツーリズムとして具体的な事業が出て来なかつたのではないかと推察しているところです。そうはいつても、町の観光の計画の中でグリーンツーリズムという文言にしたということは、グリーンツーリズムを推進するということだと思いますので、本当は戦略にもそういったことが載ってきてほしいと思うのですが、恐らくまだ体制が整っていないのか、具体的な事業が揃っていないのかということもあると思います。</p>
信太委員	<p>ゼロカーボン委員会の中では、かなり広い意味で捉えております。戦略ではピンポイントで農村ツーリズム推進事業と掲載されておりますが、そうするとグリーンツーリズムはやらないということではないですよ。</p>
竹下政策推進課長	<p>そうですね。ここに記載のあるのは、みらい農業課の事業として農村ツーリズム推進事業を行っていて、これをグリーンツーリズムにしてしまうと、みらい農業課から見ると意味が変わってきてしまいます。</p>
信太委員	<p>北海道も農村ツーリズムを推進していますね。グリーンツーリズムという文言は定義として法律化されておりますが、農村ツーリズムというのはぼんやりしているので、そこに違和感を感じて質問させていただきました。</p>

竹下政策推進課長	<p>みらい農業課としては、農村ツーリズムという言葉でもって、地方に興味を持っていただくとか、農家さんと触れ合っていただくとか、そういったことを目指しているということは間違いないと思います。</p>
村田会長	<p>次に、「基本目標 2」について、事務局から説明をお願いします。</p>
稲場主査	<p>○基本目標 2 「「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す」</p> <p>40 ページをお開きください。基本目標 2 「「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す」についてです。</p> <p>数値目標の指標ですが、こちらの基本目標では、本町の魅力を情報発信し、UIJ ターンの強力推進を行うものとなっておりますので、「転出入者の差」を数値目標の指標として設定しております。</p> <p>「転出入者の差」の令和 5 年度の実績値は▲105 人で、令和 11 年度の目標値は▲100 人に設定しております。過去 10 年間の社会増減の推移を見ると、転出入者の差が 100 人以下となった年は 1 年のみであり、転出数が転入数を上回る社会減の状態が続いておりますが、各施策を展開していくことでこれ以上転出入の差を広げないよう、目標値を設定しました。</p> <p>次に、「施策 1 若者人口の増加」についてです。</p> <p>施策 1 における KPI は、「20 代～40 代の転出入者の差」を設定しております。</p> <p>「20 代～40 代の転出入者の差」の令和 5 年度の実績値は▲59 人で、令和 11 年度の目標値は▲40 人に設定しております。進学や就職を理由に、特に 10 代後半から 20 代前半の若者が転出する傾向が強くなっておりますが、雇用の創出と若者の定着を図るための施策を展開していくことで、20 代～40 代の転出入者の差を縮められるよう、目標値を設定しました。</p> <p>次に、「施策 2 移住・定住促進による転入数増加（I ターン・J ターン）」、42 ページに記載の「施策 3 U ターン数の増加」についてです。</p> <p>施策 2 における KPI は「移住相談件数」「事業を通じた移住件数」「体験移住施設の利用件数」を設定しております。</p> <p>「移住相談件数」の令和 5 年度の実績値は 156 件で、令和 7 年度～令和 11 年度の 5 年間の累計による目標値は 780 件に設定しており、指標の 3 つ目「体験移住施設の利用件数」の令和 5 年度の実績値は 15 件で、令和 7 年度～令和 11 年度の 5 年間の累計による目標値は 75 件に設定しております。こちらは、東京都や大阪府で開催される移住フェアへの参加やポータルサイトでの情報発信を継続して実施することで、移住相談件数を維持する目標値としております。</p> <p>指標の 2 つ目「事業を通じた移住件数」の令和 5 年度の実績値は 5 件で、令和 7 年度～令和 11 年度の 5 年間の累計による目標値は 74 件に設定しており、UIJ ターンの強力推進を行うことで実績値を上回るよう、目標値を設定しました。</p> <p>施策 3 における KPI は「事業を通じた U ターン件数」を設定しております。</p> <p>「事業を通じた U ターン件数」の令和 5 年度の実績値は 6 件で、令和 7 年度～令和 11 年度の 5 年間の累計による目標値は 42 件に設定しており、こちらも施策 2 と同様に、UIJ ターンの強力推進を行うことで実績値を上回るよう、目標値を設定しました。</p>

	<p>次に、「施策4 SNS等を活用した魅力発信」についてです。</p> <p>前回会議にて、福田委員より「SNSの発信とともにSNSの現状分析も必要」とのご意見をいただいたことから、具体的な施策に「効果的なSNSの特定や新規SNSの分析を行い」という黄色マーカー部分の文言を追加しました。</p> <p>施策4におけるKPIは、「ホームページアクセス件数」を設定しております。</p> <p>「ホームページアクセス件数」の令和5年度の実績値は971,215件で、令和11年度の目標値は1,000,000件に設定しております。こちらは1つの指標として町ホームページへのアクセス件数にて算出することとし、SNSで効果的に発信することで、詳細な情報が掲載された町ホームページへの遷移数を増やすよう、目標値を設定しております。</p> <p>以上、「基本目標2」についてご説明させていただきました。よろしくお願いいたします。</p>
村田会長	<p>事務局から「基本目標2」について説明がありましたが、何かご質問等ありませんか。</p>
竹下政策推進課長	<p>43ページのKPI「ホームページアクセス件数」について、ホームページは来年に向けてリニューアルするとのことでしたが、R5実績値が971,215件に対して、目標値が1,000,000件というのは少ないのではないのでしょうか。</p> <p>人口ビジョンでお示ししているとおり、人口は減っていくので、美幌町のホームページをご覧になる方は減るはずなのですが、そこを増やしていくというイメージです。アクセス数はどの自治体もどうしても減少しがちなのですが、今回リニューアルするにあたって国の補助金を取る際には、このような状況下でもアクセス数を伸ばすという目標を設定していて、その数字がここに記載のある1,000,000件です。ですので、担当としては上向きの数字となっております。</p>
村田会長	<p>町民の人の利用というより、町外の人へのアクセスを期待したいところですね。</p>
酒井委員	<p>行政が考える、「びほろらしさ」とは何でしょうか。</p>
竹下政策推進課長	<p>基本目標2のタイトルで、ひとを呼び込み、呼び戻すとなっておりますが、施策4のSNSを活用した魅力発信において、暮らしやすさや魅力をPRしていきたいと考えております。移住検討者に子育て環境や教育等で力を入れていることを対外的に発信していき、ひとを呼び戻す、来ていただくということです。移住検討者へのリーチになるので、独創的などというよりは、どちらかというと行政サービスで美幌町が頑張っていることや他自治体と比較しても誇れることの宣伝がメインになると思います。</p>
酒井委員	<p>元々びほろらしさというものがあるから、それを発信するのではなく、色々な施策をやりながら発信していくということでしょうか。</p>
竹下政策推進課長	<p>びほろならではの施策という捉え方をしております。</p>

酒井委員	あともう1点ですが、魅力を外部へ発信していくということで、SNS等を活用した魅力発信とありますが、他の行政や企業も行っていると思いますが、どの程度本気というか、しっかりお金をかけてプロモーションしていくのかというところの、具体的なものはありますでしょうか。
竹下政策推進課長	前回の会議でもご意見いただきましたが、効果的なSNSという文言はご意見をいただいて修正しました。SNSは日進月歩でトレンドがどんどん変わって行って、SNSによっても写真が得意なものや動画が得意なもの、年齢層が若いもの等、得意技が違ったりします。具体的ななというと、今こうしますというのは言えませんが、ここに記載した以上は、効果的にSNSを活用していきましょうという決意表明であります。予算の規模感はともかく、人工はある程度割いてやっていくというイメージはあります。
村田会長	外部委託するのではなく、職員でやっていくということでしょうか。
竹下政策推進課長	外部委託するにしても、どういったところに外部委託をしてやっていくのかも含めてですが、今SNS戦略を行っている担当が美幌町には居ないので、そういう点も含めて検討していきましょうということです。結果的には、外部委託で得意なところにお任せするかもしれませんが、職員がSNSを展開していくかもしれません。そこは答えが出ておりませんが、この5年間で取り組みますということをはっきりと打ちたいということです。
村田会長	KITENの職員で得意な人はいないのでしょうか。
稲場主査	KITENはKITENでSNSを活用して発信をしておりますので、フォロワー数やHPアクセス数、KITEN利用者数が増加しております。
村田会長	そういう方に町のホームページも見てもらったり、アイデアを出してもらったりできないですかね。
竹下政策推進課長	令和7年度予算ではつきませんが、この5年間の間に委託することも可能ではあると思います。
酒井委員	身内だけでは中途半端になってしまうと思いますので、お金をかけて専門家に任せて発信してもらおうということ、割り切ってしっかり予算を付けてやるべきではないかと思えます。
村田会長	道新さんにこのような、自治体から委託を受けて魅力発信する等の部門はありませんか。
岩本委員	本社にソリューションを扱う部門があり、SNSを含めたバナーやwebの発信をする部署があります。話し合いながら何かしらのお手伝いができる余地はあるかなと思います。
信太委員	ホームページアクセス件数について、実績値の971,215件は年間の件数ですか。
竹下政策推進課長	年間の件数です。
信太委員	美幌町のホームページに年間アクセス件数が平成17年から3,070,000件となっておりますがこちらは合計件数ですか。

竹下政策推進課長	合計件数です。
信太委員	R5実績が今までの1/3を占めていることになっておりますが。
竹下政策推進課長	3,070,000件はトップページのカウンターとなっており、戦略の数値は各種ページも含めた全てのカウントとなっておりまして、そこに違いがございます。トップページから遷移するのではなく、直接検索をかけて必要なページに飛ぶ方もおりますので、そういう方の分もカウントします。
福田委員	自分の発言したことが、このように文字として掲載されて、責任の重さを感じているところではございますが、取り入れてくださってありがとうございます。効果的なSNSの特定や分析ということは深くうなずけると思っております。前回お話ししましたが、美幌高校さんのInstagramを3種類フォローしました。週に3~4件とかフレッシュな情報が入ってきて、自分の子供が通っているわけでもないのに、なぜだか身近に感じています。今日ふと、自分の子供が通っている小学校にもブログがあったと思い見てみましたところ、更新されておりますが、友達に聞いても何か月も見ていなかったという反応が返ってきて、私も自分の子どもが入学するときは見えていたのですが、接する媒体によって頻度などが変わると、自分でもリアルに実感しました。自分の子どもが通っているの、お便りとかがアナログで来るので、そういうもので知れるということもあります。特定や分析というのをまずしていただくというのが一歩かなと思っております。もし予算が付けられるのであれば、今後効果的に発信できるような体制が整っていくと良いのかなと思っておりました。
竹下政策推進課長	更新頻度というか、動いていると継続して見ていただけるというのはありますよね。自治体職員だけだと難しい部分があるので、委託とかで得意な人にお任せするという事なんだろうと思っております。若い層ばかりではなく保護者の層にも普及しているのも事実なので、しっかりと取り組んで行きたいと思っております。
村田会長	次に、「基本目標3」について、事務局から説明をお願いします。
稲場主査	<p>○基本目標3「このまちで出会い結婚し、子どもを生み育てたいという希望をかなえる」</p> <p>44ページをお開きください。基本目標3「このまちで出会い結婚し、子どもを生み育てたいという希望をかなえる」についてです。</p> <p>数値目標の指標ですが、こちらの基本目標では、出会いから結婚までのサポートや子育て環境、教育環境の整備・支援を行うものとなっておりますので、「合計特殊出生率」を数値目標の指標として設定しております。</p> <p>「合計特殊出生率」の令和5年度の実績値は1.26で、令和11年度の目標値は1.70に設定しております。人口規模が長期的に維持される水準であります合計特殊出生率2.07を下回る状況が続いておりますが、2040年の人口目標を達成するための目標値として第2期戦略と同じく1.70に設定しております。</p> <p>次に「施策1 結婚、出産、子育て支援（高校生まで）」についてです。</p> <p>施策1におけるKPIは、「婚姻届出数」「出生数」を設定しております。「婚姻届出数」の令和5年度の実績値は54件で、令和11年度の目標値</p>

<p>村田会長</p>	<p>も 54 件に設定しておりまして、生産年齢人口が減少していく中で、出会いから結婚までのサポートを行うことにより、婚姻届出数を維持していく目標を設定しました。</p> <p>「出生数」の令和 5 年度の実績値は 76 人で、令和 11 年度の目標値について、皆さまにお配りしている資料では 61 人となっておりますが、こちらは誤りまして、正しくは 71 人となりますので、訂正をお願いします。</p> <p>こちらは、町独自推計の令和 11 年度の人口における出生数の割合を算出し、その割合を目標人口にかけて出生数の目標値を算出しております。</p> <p>46 ページをお開きください。次に、「施策 2 働きやすい職場環境の整備」についてです。</p> <p>施策 2 における KPI は、「有効求人倍率」を設定しております。</p> <p>「有効求人倍率」の令和 5 年度の実績値は 1.17 倍で、令和 11 年度の目標値は 1.28 倍に設定しており、過去 4 年平均の 1 割増を目標として設定しております。</p> <p>なお、KPI の指標について、前回会議資料では「就業率」としておりましたが、市町村単位の就業率は国勢調査でしか確認できないため「有効求人倍率」へ指標を変更しております。</p> <p>次に、「施策 3 子どもがのびのびと遊び過ごせる環境の整備」についてです。</p> <p>施策 3 における KPI は、「都市公園の面積」を設定しております。</p> <p>「都市公園の面積」の令和 5 年度の実績値は 99.57ha で、令和 11 年度の目標値も 99.57ha に設定しておりまして、都市公園を減らさないよう、現状維持する目標値設定としております。</p> <p>なお、前回会議で、村田会長より「特色ある公園の整備を検討して欲しい」というご要望をいただきましたので、そのご要望については建設部へお伝えし、公園の修繕計画へ繋ぐことといたしました。</p> <p>次に、「施策 4 教育環境の充実」についてです。</p> <p>前回会議で、信太委員より「国立公園が本町にあるということ子どもたちに体験してもらい、誇りに持ってもらいたい」というご意見をいただいたことから、主な事業に黄色マーカー部分の「びほろ学」推進事業を追加し、地域の教育資源を活用した体験学習の機会の拡大を図ります。</p> <p>施策 4 における KPI は、「学力調査の全国平均との差（小中学生）」「美幌高校入学者数」を設定しております。</p> <p>「学力調査の全国平均との差（小中学生）」の令和 5 年度の実績値は小学生が▲1.4 ポイントで、中学生が▲11.2 ポイントとなっており、令和 11 年度の目標値は小学生、中学生共に▲0 ポイントに設定しております。質の高い教育環境を整備することにより、全国平均まで学力向上することを目標としております。</p> <p>「美幌高校入学者数」の令和 5 年度の実績値は 46 人で、令和 11 年度の目標値は普通科 50 人、未来農業科 30 人の計 80 人に設定しております。</p> <p>以上、「基本目標 3」についてご説明させていただきました。よろしくお願いたします。</p> <p>事務局から「基本目標 3」について説明がありましたが、何かご質問等ありませんか。</p> <p>「びほろ学」推進事業は学校の授業に入れるということでしょうか。</p>
-------------	---

竹下政策推進課長	はいそうです。
村田会長	何かテキストみたいなものを作るとはでしょうか。
稲場主査	はい、そうですね。
村田会長	次に、「基本目標 4」について、事務局から説明をお願いします。
稲場主査	<p>○基本目標 4「住み続けたいと思える生活環境を整える」</p> <p>49 ページをお開きください。基本目標 4「住み続けたいと思える生活環境を整える」についてです。</p> <p>数値目標の指標ですが、こちらの基本目標では、住民にとって住み続けたいと思える生活環境の整備に取り組むこととしておりますので、「人口」を数値目標の指標として設定しております。</p> <p>「人口」の令和 5 年度の実績値は 17,526 人で、令和 11 年度の目標値は 16,197 人に設定してありまして、人口の将来展望に沿った目標値となっております。</p> <p>50 ページをお開きください。次に、「施策 1 町民が活躍できる環境の整備・健康に暮らし続けられる地域づくり」についてです。</p> <p>前回会議で、信太委員より「シビックプライドの醸成」に関するご意見をいただいたことから、具体的な施策に「シビックプライドの醸成を促進し」という黄色マーカー部分の文言を追加し、主な事業に「びほろ学」推進事業を追加しました。</p> <p>施策 1 における KPI は、「WorkingSpaceKITEN でのイベント開催支援数」「特定健診受診率」を設定しております。</p> <p>「WorkingSpaceKITEN でのイベント開催支援数」の令和 5 年度の実績値は 40 件で、令和 11 年度の目標値は 45 件に設定しており、町民が活躍できる場として引き続きイベントを開催していきたいと考えております。</p> <p>なお、KPI の指標について、前回会議資料では「WorkingSpaceKITEN でのイベント開催数」としておりましたが、町民との共催イベントをカウントすることとし、「WorkingSpaceKITEN でのイベント開催支援数」へ指標を変更しております。</p> <p>「特定健診受診率」の令和 5 年度の実績値は 32.8%で、令和 11 年度の目標値は 40.0%に設定しており、健康に暮らし続けられる地域づくりを推進することで町民の健康意識を高め、受診率が向上していくことを目指し、目標値を設定しました。</p> <p>次に、「施策 2 女性が活躍する社会づくり」についてです。</p> <p>前回会議で、福田委員よりご意見をいただいたことから、「女性が輝く社会づくり」を「女性が活躍する社会づくり」へ修正いたしました。</p> <p>施策 2 における KPI は、「女性起業家件数」を設定しております。</p> <p>「女性起業家件数」の令和 5 年度の実績値は 2 件で、令和 7 年度～令和 11 年度の 5 年間の累計による目標値は 3 件に設定しております。こちらは、びほろ男女共同参画プランにおける目標値から算出しており、基本目標 1 施策 4 の目標値であります「起業家件数」10 件の 30%を、本施策の目標値に設定しております。</p> <p>次に、「施策 3 デジタルを活用した便利なまちづくり」についてです。</p>

	<p>施策3におけるKPIは、「デジタル化した行政サービス数」を設定しております。</p> <p>「デジタル化した行政サービス数」の令和5年度の実績値は17件で、令和11年度の目標値は36件に設定しております。近年のデジタル化の急速な進展に対応し、誰一人取り残さない町民に優しいデジタル化を推進していきます。</p> <p>最後に、「施策4 住環境の整備」についてです。</p> <p>施策4におけるKPIは、「空き家棟数」「自主防災組織の結成率」を設定しております。</p> <p>「空き家棟数」の令和5年度の実績値は621棟で、令和11年度の目標値は720棟に設定しております。町内の世帯数の減少に伴い空き家棟数が増加しており、1年間で平均30棟程度空き家が増加しておりますが、住環境の整備を行うことで年平均20棟程度の増加まで抑制することを目指します。</p> <p>「自主防災組織の結成率」の令和5年度の実績値は85.1%で、令和11年度の目標値は93.0%に設定しており、自主防災組織が未結成の自治会と連携を図り、結成率の向上に努めてまいります。</p> <p>以上、「基本目標4」についてご説明させていただきました。基本目標1～4までが事務局としての最終案となりますので、ご審議のほどよろしく願います。</p>
村田会長	<p>事務局から「基本目標4」について説明がありましたが、何かご質問等ありませんか。</p> <p>なければ、全体を通して何かありませんか。</p>
福田委員	<p>46ページのKPI「婚姻届出数」のところで、美幌町は婚姻届を出したときに、ポケモンのアローラロコンのそこだけでしか手に入らないファイルがもらえるという事業があったかと思いますが、あれは結構効果があって、町内外からそのために若いカップルが来たりしたのかなというのと、それに関連して、ポケモンはものすごく経済効果のあるコンテンツでして、日本の都道府県で推しポケモンを作っており、北海道がアローラロコンとロコンを推している、美幌町もロコンバスが走っており、子ども達にすごく人気があります。そのキャラクターの活用みたいなものが美幌町で何かできるのではないかと考えております。昨年は網走市の流水館で、アローラロコンが流水の中からプロジェクションマッピングで出てくるというイベントがあったり、大空町の女満別湖畔でポケモンのイルミネーションがあったりして、子ども達が大好きなので連れて行ってほしいと言われました。美幌町はロコンバスがあったり自動販売機も見かけるのですが、それ以外に何か広がりがあれば嬉しいと思いました。</p>
竹下政策推進課長	<p>婚姻届の影響は確認しますが、マンホールとかもありますね。信太委員のご存知の範囲で、観光でポケモンの経済効果についてや、ポケモンのお話で話題になったりとかありますでしょうか。</p>
信太委員	<p>正確の数字はございませんが、ポケふたマンホールは観光協会の前にありまして、ロコンとハネッコが描かれておりまして、我々も半信半疑だったのですが、写真を取りに来る人がかなり居るので、そこに向かう目的という面ではかなりの効果があると、感じております。前経済部に那須さん</p>

	<p>が居た時に、ポケモンGOの関係でポケモン社とやり取りをしたことがあったのですが、ものすごく金額が高かったので、予算も高額になると思います。ですので、網走市さんのプロジェクトマップも相当お金をかけていると思いますが、お金をかけるだけの対価として人は来るというのは観光協会の中で一致しております。</p>
村田会長	<p>ロコンバスには結構お金がかかっているのですか。</p>
稲場主査	<p>ふるさと納税を活用して行っている事業です。</p>
竹下政策推進課長	<p>ポケモン社と契約をして行いますが、地域貢献の一環で通常の商品使用とは別の契約をしていただいて、通常より安くしていただいていたかと思えます。</p>
村田会長	<p>少し前までは、冬まつりで雪像を作るときにもそういうものはダメだと言われたこともありました。</p>
竹下政策推進課長	<p>実際にポケモンがコンテンツとして魅力があるということですよ。婚姻届については後日お知らせしてもよろしかったでしょうか。</p>
福田委員	<p>構いません。ポケモンの中でもアローラロコン、ロコンはすごく人気で、全国の推しポケモンのお土産をたまたまいただいたのですが、岩手県はイシツブテというゴロゴロしたキャラクターであまり可愛くなくて、香川県に行ったお友達からもうどんにかけてヤドンというキャラクターのものをいただいたのですが、圧倒的に北海道はアローラロコンとロコンでラッキーだったと素人目にも感じますので、何かあったらいいのかなと思いついて話題にしました。</p>
村田会長	<p>婚姻届を出した時の、記念撮影用のロールスクリーンはまだ設置しているのでしょうか。</p>
稲場主査	<p>設置しております。</p>
村田会長	<p>他に全体を通して何かございませんか。 今回の会議が最後となります。今回の会議で出た意見の反映は、事務局に一任することとし、これをもって本審議会における「最終案」としてよろしいでしょうか。</p>
一同	<p>(はい)</p>
村田会長	<p>それでは、議題の3番目「その他」について、事務局より説明をお願いします。</p>
稲場主査	<p>【議題3 その他】 今後のスケジュールについて、来年1月から町民に意見を募るパブリックコメントを開始する予定となっており、パブリックコメント完了後、年度内にレイアウトなどの調整を行い、令和7年4月からの施行を予定しております。 本審議会におきましては、今後、パブリックコメントなどにより変更協議を行うことがない限りは、今回で最後となりますので、よろしくお願いたします。</p>

<p>村田会長</p>	<p>事務局から「その他」について説明がありました。何かご質問等ありませんか。</p> <p>なければ、全体を通して何かありませんか。 では最後に、事務連絡をお願いします。</p>
<p>竹下政策推進課長</p>	<p>先ほど会長や事務局からもお話させていただきましたが、今回の会議をもちまして、最終案とさせていただきます。皆さまから貴重なご意見をいただき、ご協力いただいた成果だと思っております。ありがとうございます。第3期の総合戦略は「女性の活躍」「移住促進」「デジタル」などの特色を出すことになりまして、SNSの活用や外国人の関係等新たな視点も沢山いただきました。基本的方向や現状と課題はこちらになりますが、そこに並ぶ施策は5年間の間も変更・追加等はしていただけますので、基本的方向の着実な達成に向けて、今後もこの会議等でご意見をいただきたいと思っております。皆さまの任期が令和7年3月21日までとなっております。パブリックコメントでよっぽどのが無い限りは会議はこれで最後となりますが、翌年3月22日からは新たな委員の体制となります。是非同じメンバーでお戻りいただければと思っております。各団体には推薦依頼をさせていただきますし、公募の皆さまはまた応募いただければと思います。第3期戦略の着実な実行には官民連携した取り組みが重要でありますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。</p> <p>改めまして、ありがとうございました。</p>
<p>村田会長</p>	<p>策定会議として全5回の会議を開催しました。皆さまお疲れ様でした。本日予定されている会議の内容について全て終了しました。</p> <p>以上で会議を閉会とします。</p> <p>【閉会】</p>